

地域における食育推進の担い手の育成

事業実施主体:岐阜市(岐阜県)

○岐阜市では、地域での食を通じた健康づくり活動及び食育推進活動をすすめるボランティア団体である「岐阜市食生活改善推進協議会」の養成講座と勉強会を開催し、人材育成に努めている。

○新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見通せない状況の中、社会的距離(ソーシャルディスタンス)を保つ、3密の回避、手洗い・手指消毒の徹底などの新しい生活様式を確実に実践しながら、「食生活改善推進員養成講座」「食生活改善推進員勉強会」を開催した。

岐阜県岐阜市



【取組の内容】

○食生活改善推進員養成講座

新規でボランティア活動を希望する市民を対象とし、食生活改善推進員としての活動に必要な知識、技術を習得するための養成講座を開催した。

調理実習は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テーマに沿ったレシピを受講者が持ち帰り、自宅で作り、次の講座で感想を発表する形式をとった。

開催回数:24回

参加人数:延べ245人



養成講座

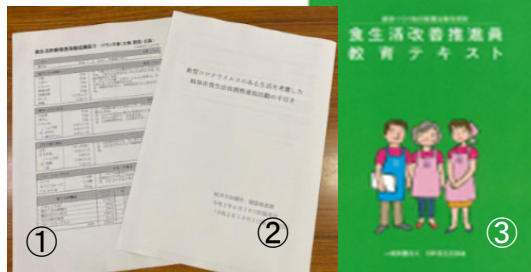
レシピで自宅調理実習

○食生活改善推進員勉強会

食生活改善を推進し、地域において積極的に健康増進を進めることができる食生活改善推進員を育成するため、生活習慣病の予防や食生活の基礎知識等の勉強会を開催した。

開催回数:97回

参加人数:延べ935人



教材(①レシピ、②推進員の手引き、③推進員テキスト)

○手引きの作成

岐阜市では、「新型コロナウイルスのある生活を考慮した岐阜市食生活改善推進員活動の手引き」を作成し、これを参考に各種講座を開催している。

【取組の成果】

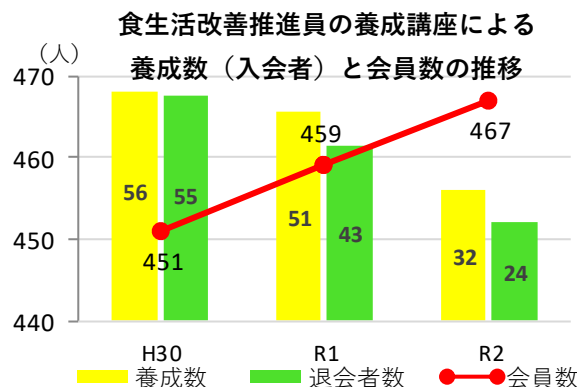
コロナ禍で、食生活改善推進員の地域活動数が減少する中でも養成講座や勉強会を開催することで、推進員の資質の向上やモチベーションの維持につなげることができた。

○参加者の感想(抜粋)
講座

- ・健康について考えて食事をしていたつもりだったが、偏っていたことが分かった。
- ・フレイル予防の食生活について学ぶことができた。

調理実習(自宅)

- ・調味料を計量して使うことで、普段使いすぎていることが分かった。
- ・家族から感想を聞きながら、楽しんで取り組めた。



養成講座を開催したことで、会員数の減少に歯止めをかけている。養成講座や勉強会を受講したことで、バランスの良い食事の必要性を認識し、自らの食生活に活かしたいと意識変化がみられた。